



吉見 大 議員

問 第2次総合計画における進行管理はどのような手法・仕組みで行っているのか。

答 政策部長

現行の総合計画においては、それぞれの施策にめざす姿を設定し、その方向性を明示するとともに、行政評価に位置付けて進行管理を行っております。

行政評価は、事務事業評価と施策評価の2層からなり、事務事業が目的に沿って効率のかつ効果的に実施されているか、その事務事業を実施することで総合計画の施策の達成につながっているかについて

第2次高島市総合計画の総括 および第3次計画の策定方針 および進行管理の方法について

評価を行っているところです。

問 市民にどのように情報提供し共有しているのか。

答 政策部長

現状では内部評価にとどまっており、公表等は行っておりません。

問 進行管理の可視化はどのように進めるのか。

答 政策部長

市民が地域の実情を理解し、主体的にまちづくりに関わるための仕掛けが重要であると考えております。

第3次総合計画の策定にあたっての基本的な 方針や考え方について問う

答 現行の総合計画の効果検証を行うとともに、アンケートや市民ワークショップ、さらには庁内各部局および諮問機関の意見を踏まえながら今後検討していくこととしております

問 第3次総合計画の策定にあたっての基本的な方針や考え方について問う。

答 政策部長

基本的な方針や考え方については、現行の総合計画の効果検証を行うとともに、アンケートや市民ワークショップ、さらには庁内各部局および諮問機関の意見等を踏まえながら今後検討していくこととしております。

問 策定後の計画の進行管理体制について問う。

答 政策部長

現状の課題の洗い出しや

検証を行うとともに、先進事例等も参考にしながら、より効果的な進捗管理体制の構築に向けて今後検討してまいりたいと考えております。

問 行政評価については、どのような評価手法を用い、得られた効果をどのように認識しているのか。

答 政策部長

事務事業評価と、予算事業で構成される総合計画の施策を評価する施策評価を行っており、一定の効果が得られたと認識しています。

問 実際の行政運営にどのように活用しているのか。

答 政策部長

所管課において事務事業の見直しや改善、予算への反映等について検討するとともに、財政当局においても評価結果を踏まえながら予算査定を行っているところです。